

平成28 年度（ 27 年度実施分） 事務事業目的評価表

様式1-1

記入日 平成 28 年 10 月 31 日

1 事務事業 の 現 状 (D O)	事務事業名	No. 610201	居宅介護住宅改修事業				主管課名	長寿介護課		
	この事務事業 の位置	政策	安全で安心して住み続けることができる地域				課長名	岡田 高行		
		施策	誰もが安心して出かけられるまち							
		基本事業	住宅のバリアフリー改修の促進							
	(1)事業の概要									
	在宅の要介護者が、手すりの取付け等の一定の住宅改修を実際に居住する住宅について行ったときは、居宅介護住宅改修費が支給限度基準額の9割を上限として、償還払いで支給される。						(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) … 数値は(9)			
							名 称		単 位	
							要介護等認定者数(各年10月1日)		人	
							その指標			
	(27年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)		申請 審査 実施 給付額の交付							
28年度計画		前年と同様 変更あり		変更内容						
(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)						(6)対象指標(対象の大きさを表す指標) … 数値は(9)				
要介護認定者						名 称		単 位		
						要介護認定者数		人		
(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)						(7)成果指標(意図の達成度を示す指標) … 数値は(9)				
介護サービスを利用する人が必要なサービスを受けられる						名 称		単 位		
						住宅改修費の受給者数		人		
(4)結果(上位基本事業の意図)						(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) … 数値は(9)				
住みよい住環境で暮らしてもらう						名 称		単 位		
						制度を利用した件数		人		
(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標										
指標	年度	単位	26年度実績値	27年度実績値	28年度計画値	29年度目標値	30年度目標値	31年度目標値		
(5)の活動指標		人	1,125	1,174	1,252	1,327	1,393	1,447		
(6)の対象指標		人	771	768	786	805	825	846		
(7)の成果指標		人	69	39	40	41	42	43		
(8)の結果の成果指標		人	69	39	40	41	42	43		
(10)予算費目		会計	06 介護保険特別会計(保険事業勘定)				款	02	項	01
(11)コスト		年度	26年度実績値	27年度実績値	28年度計画値	29年度目標値	30年度目標値	31年度目標値		
事業費(決算又は予算額)		単位	7,258	4,035	6,464	4,221	4,292	4,347		
A	財源内訳	国庫支出金	千円	1,452	1,733	1,292	844	858	869	
		県支出金	千円	907	1,062	808	527	536	543	
		地方債	千円	0	0	0	0	0	0	
		その他	千円	2,105	2,378	1,809	1,181	1,201	1,217	
		一般財源	千円	2,794	-1,138	2,555	1,669	1,697	1,718	
人件費B		千円	643	678	678	678	678	678		
正職員従事時間×人数		時間×人	187 × 1	182 × 1	182 × 1	182 × 1	182 × 1	182 × 1		
正職員以外の人件費		千円	0	0	0	0	0	0		
その他費用C		千円	24	22	22	22	22	22		
トータルコストA+B+C		千円	7,925	4,735	7,164	4,921	4,992	5,047		
単位あたりコスト(トータルコスト/(6)の対象指標)		千円/人	10	6	9	6	6	6		

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名 No. 610201 居宅介護住宅改修事業	
	(1)この事務事業はいつから開始したのか？ 平成12年 から	(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？ 給付の適正化がはかられるよう、適切な措置を講ずる。
	(2)この事務事業を開始したきっかけは？ 介護保険制度の施行により	
	(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？ 変化していない 変化している	

3 評価(SEE) 目的妥当性 有効性 効率性 公平性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	法定受託事務 自治事務	根拠法令 法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する 根拠法令 この事務を行う根拠又は理由	介護保険法 介護保険法第45条	
	(2)この事業の意図は結果(基本事業の意図)に結びつきますか？	結びつく 結びつかない	理由		
	(3)対象を見直すこと(対象の拡大又は縮小)はできませんか？	できる できない	拡大 縮小	内容	
	(4)意図を見直すこと(意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み)はできませんか？	できる できない	追加 拡充 絞込み	内容	
	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	影響が大きい 多少影響がある 影響はない	理由 又は 内容		
	(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？ 1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	できる できない	理由 又は 内容	要介護認定者数の増加に伴い、本事業の対象者数も増加が見込まれるため。	
	(7)類似又は関連する事業はありませんか？ また、類似事業との再編で費用対効果が向上しますか？	ある ない	庁内事業 庁外事業	類似事業名 類似事業との再編の可能性 ある ない	内容
	(8)現在の成果水準のままでは事業費を削減する方法はありませんか？(仕様や工法の変更、住民の協力など)	ある ない	内容		
	(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	ある ない	内容		
	(10)受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	ある ない	現状で適正 検討が必要 受益者がいない	内容	

4 改革改善案(PLAN)	(1)今後の事業の方向性	拡大	改善	現状維持	縮小	統合	廃止・休止
	(2)改革・改善案 対象、意図、手段等の見直しなど	コストの方向性	削減	事業費の方向性	減額	成果の方向性	維持

平成28年度(27年度実施分)事務事業目的評価表

様式1-1

記入日 平成28年10月31日

1 事務事業の現状(DOC)	事務事業名 No. 610202 介護予防住宅改修事業		主管課名 長寿介護課								
	この事務事業の位置	政策	安全で安心して住み続けることができる地域		課長名 岡田 高行						
		施策	誰もが安心して出かけられるまち								
		基本事業	住宅のバリアフリー改修の促進								
	(1)事業の概要										
	在宅の要支援者が、手すりの取付け等の一定の住宅改修を実際に居住する住宅について行ったときは、支給限度基準額の9割を上限として介護予防住宅改修費が償還払いで支給される。			(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) … 数値は(9)							
				名称	単位						
				要介護等認定者数(各年10月1日)	人						
				その指標							
	(27年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)		申請	審査	実施	給付額の支給					
28年度計画	前年と同様 変更あり	変更内容									
(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物) 要支援認定者			(6)対象指標(対象の大きさを表す指標) … 数値は(9)								
			名称	単位							
			要支援認定者数	人							
(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか) 介護サービスを利用する人が必要なサービスを受けられる			(7)成果指標(意図の達成度を示す指標) … 数値は(9)								
			名称	単位							
			介護予防住宅改修費の受給者	人							
(4)結果(上位基本事業の意図) 住みよい住環境で暮らしてもらう			(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) … 数値は(9)								
			名称	単位							
			制度を利用した件数	件							
(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標											
指標	年度	単位	26年度実績値	27年度実績値	28年度計画値	29年度目標値	30年度目標値	31年度目標値			
(5)の活動指標		人	1,125	1,174	1,252	1,327	1,393	1,447			
(6)の対象指標		人	354	406	466	524	576	619			
(7)の成果指標		人	53	53	61	70	80	92			
(8)の結果の成果指標		件	53	53	61	70	80	92			
(10)予算費目		会計	06 介護保険特別会計(保険事業勘定)			款	02	項	02	目	01
(11)コスト		年度	26年度実績値	27年度実績値	28年度計画値	29年度目標値	30年度目標値	31年度目標値			
事業費(決算又は予算額)		単位	6,528	5,011	5,942	6,465	7,105	7,630			
A	財源内訳	国庫支出金	千円	1,306	1,109	1,188	1,293	1,421	1,526		
		県支出金	千円	816	680	742	808	888	953		
		地方債	千円	0	0	0	0	0	0		
		その他	千円	1,893	1,521	1,663	1,810	1,989	2,136		
		一般財源	千円	2,513	1,701	2,349	2,554	2,807	3,015		
人件費B		千円	643	678	678	678	678	678			
正職員従事時間×人数		時間×人	187×1	182×1	182×1	182×1	182×1	182×1			
正職員以外の人件費		千円	0	0	0	0	0	0			
その他費用C		千円	22	22	22	22	22	22			
トータルコストA+B+C		千円	7,193	5,711	6,642	7,165	7,805	8,330			
単位あたりコスト(トータルコスト/(6)の対象指標)		千円/人	20	14	14	14	14	13			

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名 No. 610202 介護予防住宅改修事業	
	(1)この事務事業はいつから開始したのか？ 平成18年 から	(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？ 給付の適正化が図られるよう、適切な措置を講ずる。
	(2)この事務事業を開始したきっかけは？ 介護保険制度の改正により	
	(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？ 変化していない 変化している	

3 評価(SEE) 目的妥当性 有効性 効率性 公平性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	法定受託事務 自治事務	根拠法令 法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する 根拠法令 介護保険法 この事務を行う根拠又は理由 介護保険法第57条			
	(2)この事業の意図は結果(基本事業の意図)に結びつきますか？	結びつく 結びつかない	理由			
	(3)対象を見直すこと(対象の拡大又は縮小)はできませんか？	できる できない	拡大 縮小	内容		
	(4)意図を見直すこと(意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み)はできませんか？	できる できない	追加 拡充 絞込み	内容		
	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	影響が大きい 多少影響がある 影響はない		理由又は内容		
	(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？ 1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	できる できない		理由又は内容	要支援認定者の増加に伴い、本事業の対象者数の増加が見込まれるため。	
	(7)類似又は関連する事業はありませんか？ また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？	ある ない	庁内事業 庁外事業	類似事業名 類似事業との再編の可能性	ある ない	内容
	(8)現在の成果水準のままでは事業費を削減する方法はありませんか？(仕様や工法の変更、住民の協力など)	ある ない		内容		
	(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	ある ない		内容		
	(10)受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	ある ない	現状で適正 検討が必要 受益者がいない	内容		

4 改革改善案(PLAN)	(1)今後の事業の方向性	拡大	改善	現状維持	縮小	統合	廃止・休止
	(2)改革・改善案 対象、意図、手段等の見直しなど	コストの方向性	維持	事業費の方向性	維持	成果の方向性	維持

平成28 年度（ 27 年度実施分） 事務事業目的評価表

様式1-1

記入日 平成 28 年 10 月 31 日

1 事務事業 の 現 状 (D O)	事務事業名 No. 610301 公共交通推進事業		主管課名 企画政策課														
	この事務事業 の位置	政策	安全で安心して住み続けることができる地域		課長名 野々山清												
		施策	誰もが安心して出かけられるまち														
		基本事業	さんさんバスの充実														
	(1)事業の概要																
	市内の公共交通空白地帯の解消や高齢者などの移動制約者の社会参加の促進、環境負荷の低減などを目的として、さんさんバス2路線を1日あたりそれぞれ25便運行している。また、さんさんバスのバス停から離れた地域の対策として、乗合タクシーを運行しさんさんバスと接続させている。			(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) … 数値は(9)													
				<table border="1"> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> </tr> <tr> <td>さんさんバスの運行に要する経費</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">その指標</td> </tr> </table>		名 称	単 位	さんさんバスの運行に要する経費	千円							その指標	
	名 称	単 位															
	さんさんバスの運行に要する経費	千円															
その指標																	
(27年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)		平成25年10月のダイヤ見直し以来、早朝の第1便に限り、市役所などを通過するバス停を設け、運行時間の短縮を行っている。ダイヤ改正から1年を経過したので、バスの利用状況と利用者意識を把握するためにフォローアップ調査を実施した。															
28年度計画	前年と同様 変更あり	変更内容															
(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)			(6)対象指標(対象の大きさを表す指標) … 数値は(9)														
市民			<table border="1"> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> </tr> <tr> <td>人口</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </table>		名 称	単 位	人口	人									
名 称	単 位																
人口	人																
(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)			(7)成果指標(意図の達成度を示す指標) … 数値は(9)														
誰もが利用できる公共交通の確保をする 公共交通利用者を増加させる			<table border="1"> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> </tr> <tr> <td>さんさんバス利用者数</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>さんさんバスの運行本数</td> <td>便</td> </tr> <tr> <td>近隣市町のコミュニティバスとの連携数</td> <td>路線</td> </tr> </table>		名 称	単 位	さんさんバス利用者数	人	さんさんバスの運行本数	便	近隣市町のコミュニティバスとの連携数	路線					
名 称	単 位																
さんさんバス利用者数	人																
さんさんバスの運行本数	便																
近隣市町のコミュニティバスとの連携数	路線																
(4)結果(上位基本事業の意図)			(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) … 数値は(9)														
安心して便利に公共交通を利用できる			<table border="1"> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> </tr> <tr> <td>利用者アンケートでやや満足以上の回答割合</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </table>		名 称	単 位	利用者アンケートでやや満足以上の回答割合	%									
名 称	単 位																
利用者アンケートでやや満足以上の回答割合	%																
(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標																	
指標	年度	単位	26年度実績値	27年度実績値	28年度計画値	29年度目標値	30年度目標値	31年度目標値									
(5)の活動指標		千円	69,984	64,666	91,145	57,693	93,059	51,013									
(6)の対象指標		人	59,885	60,365	60,710	61,056	61,401	61,744									
(7)の成果指標		人	268,017	287,312	288,000	288,500	289,000	289,500									
		便	25	25	25	25	25	25									
		路線	2	2	2	2	2	2									
(8)の結果の成果指標		%	40	49.8	47	50	53	56									
(10)予算費目		会計	01 一般会計			款	02	項	01	目	01						
(11)コスト		年度	26年度実績値	27年度実績値	28年度計画値	29年度目標値	30年度目標値	31年度目標値									
事業費(決算又は予算額)		単位	69,984	106,094	132,956	91,688	133,028	98,276									
A 財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0									
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0									
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0									
	その他	千円	344	24,772	40,320	360	40,360	360									
	一般財源	千円	69,640	81,322	92,636	91,328	92,668	97,916									
人件費B		千円	1,206	1,118	3,352	3,352	3,352	3,352									
正職員従事時間×人数		時間×人	117×3	100×3	300×3	300×3	300×3	300×3									
正職員以外の人件費		千円															
その他費用C		千円	59	60	58	55	53	51									
トータルコストA+B+C		千円	71,249	107,272	136,366	95,095	136,433	101,679									
単位あたりコスト		千円/人	1	2	2	2	2	2									
(トータルコスト/(6)の対象指標)		千円/															
		千円/															

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名	No.	610301	公共交通推進事業
	(1)この事務事業はいつから開始したのか？			(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？
	平成13年4月28日			から
	(2)この事務事業を開始したきっかけは？			・さらなるバス利用促進方策の検討 ・サービス水準を低下させずに経費の削減を図る方策等の検討
市民意識調査の結果				
(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？				
変化していない		変化している		
		民間バス路線の廃止 市民ニーズの多様化		

3 評価(SEE) 目的妥当性 有効性 効率性 公平性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	法定受託事務	→	根拠法令	法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する
		自治事務	→	根拠法令	なし
				この事務を行う根拠又は理由	市民の移動手段の確保と環境負荷の軽減を図るため
	(2)この事業の意図は結果(基本事業の意図)に結びつきますか？	結びつく		理由	
		結びつかない	→		
	(3)対象を見直すこと(対象の拡大又は縮小)はできませんか？	できる	→	内容	
		できない	→		
		拡大	→		
		縮小	→		
	(4)意図を見直すこと(意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み)はできませんか？	できる	→	内容	
	できない	→			
	追加	→			
	拡充	→			
	絞込み	→			
(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	影響が大きい		理由又は内容		
	多少影響がある	→			
	影響はない	→			
(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？	できる	→	理由又は内容	新たな利用促進策として、路線の再編やダイヤの改正及び近隣コミュニティバスとのネットワーク化により利便性を向上させる。	
1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	できない	→			
(7)類似又は関連する事業はありませんか？	ある	→	類似事業名	名鉄バス、三好丘ループバス	
また、類似事業との再編で費用対効果が向上しますか？	ない	→	類似事業との再編の可能性	ある → 内容	
				ない	
(8)現在の成果水準のままでは事業費を削減する方法はありませんか？(仕様や工法の変更、住民の協力など)	ある	→	内容	車内広告募集により収入の確保を図る。利用率の低い便の運行可否の検討。	
	ない	→			
(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	ある	→	内容		
	ない	→			
(10)受益者負担はありますか？また、受益者負担割合は適正ですか？	ある	→	内容	路線拡充及びバス車両増車に伴う経費増大に対応した受益者負担の見直しを検討する必要がある。	
	ない	→			
	現状で適正	→			
	検討が必要	→			
	受益者がいない	→			

4 改革改善案(PLAN)	(1)今後の事業の方向性	拡大	改善	現状維持	縮小	統合	廃止・休止
		コストの方向性	削減	事業費の方向性	減額	成果の方向性	向上
	(2)改革・改善案 対象、意図、手段等 の見直しなど						

平成28 年度（ 27 年度実施分） 事務事業目的評価表

様式1-1

記入日 平成 28 年 10 月 31 日

1 事務事業 の 現 状 (D O)	事務事業名	No. 610401 公共駐輪場整備管理事業						主管課名	道路河川課		
	この事務事業 の位置	政策	安全で安心して住み続けることができる地域					課長名	渡辺輝久矢		
		施策	誰もが安心して出かけられるまち								
		基本事業	自動車利用から公共交通などへの転換								
	(1)事業の概要										
	三好ヶ丘駅、黒笹駅及び三好上バス停利用者の利便性を向上させるために設置した駐輪場の管理を行う。						(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) … 数値は(9)				
							名 称		単 位		
							駐輪場の借地面積		㎡		
							清掃草刈の回数		回		
							その指標				
(27年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)		注 駐輪場の用地を確保し借地契約を締結する 委託内容の確認検査 支払い事務		良好な機能を保持するため適切な管理をするため委託業務を発							
28年度計画	前年と同様 変更あり	▼		変更内容							
(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)						(6)対象指標(対象の大きさを表す指標) … 数値は(9)					
三好ヶ丘駅・黒笹駅・三好上バス停公共駐輪場						その指標		名 称		単 位	
								駐輪場箇所数		箇所	
(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)						(7)成果指標(意図の達成度を示す指標) … 数値は(9)					
駐輪場を安全で安心して利用できる環境にする						その指標		名 称		単 位	
								駐輪場でのトラブル苦情件数		件	
(4)結果(上位基本事業の意図)						(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) … 数値は(9)					
安心して便利に公共交通を利用できる						その指標		名 称		単 位	
								通勤時における自動車利用の分担率		%	
(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標											
指標	年度	単位	26年度実績値	27年度実績値	28年度計画値	29年度目標値	30年度目標値	31年度目標値			
(5)の活動指標		㎡	1,476	1,432	1,432	1,432	1,432	1,432	1,432		
		回	409	568	568	568	568	568	568		
(6)の対象指標		箇所	3	3	3	3	3	3	3		
(7)の成果指標		件	3	3	3	3	3	3	3		
(8)の結果の成果指標		%	74	74	74	74	74	74	74		
(10)予算費目		会計	01 一般会計				款	08	項	04	目 02
(11)コスト		年度	26年度実績値	27年度実績値	28年度計画値	29年度目標値	30年度目標値	31年度目標値			
事業費(決算又は予算額)		単位	2,135	2,495	2,502	2,544	2,544	2,544	2,544		
A	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0		
		県支出金	千円	0	0	0	0	0	0		
		地方債	千円	0	0	0	0	0	0		
		その他	千円	0	0	0	0	0	0		
		一般財源	千円	2,135	2,495	2,502	2,544	2,544	2,544	2,544	
人件費 B		千円	1,231	1,318	1,318	1,318	1,318	1,318	1,318		
正職員従事時間×人数		時間×人	100×3	100×3	100×3	100×3	100×3	100×3	100×3		
正職員以外の人件費		千円	200	200	200	200	200	200	200		
その他費用 C		千円	240	345	345	345	345	345	345		
トータルコスト A+B+C		千円	3,606	4,158	4,165	4,207	4,207	4,207	4,207		
単位あたりコスト(トータルコスト/(6)の対象指標)		千円/箇所	1,202	1,386	1,388	1,402	1,402	1,402	1,402		
		千円/									
		千円/									

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名	No.	610401	公共駐輪場整備管理事業
	(1)この事務事業はいつから開始したのか？			(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？
	平成2年から			から
	(2)この事務事業を開始したきっかけは？			放置自転車が増加している。 三好ヶ丘駐輪場に加え、黒笹駅駐輪場の利用者も増大している。
三好ヶ丘駅、黒笹駅、三好上バス停利用者の利便性向上を図る。				
(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？				
変化していない		変化し		
変化している		自転車利用者の増加と駐輪場利用者のモラルの低下		

3 評価(SEE)	目的妥当性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	法定受託事務	→	根拠法令	法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する
		自治事務	→	根拠法令	なし	
	(2)この事業の意図は結果(基本事業の意図)に結びつきますか？	結びつく	→	理由		
	結びつかない	→	理由			
	(3)対象を見直すこと(対象の拡大又は縮小)はできませんか？	できる	→	拡大	内容	
		できない	→	縮小		
	(4)意図を見直すこと(意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み)はできませんか？	できる	→	追加	内容	
		できない	→	絞込み		
	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	影響が大きい	→	理由又は内容		
		多少影響がある				
(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？	できる	→	理由又は内容	駐輪場利用者のモラル向上が必要		
	できない					
(7)類似又は関連する事業はありませんか？また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？	ある	→	類似事業名	ある		
	ない				→	内容
(8)現在の成果水準のまま事業費を削減する方法はありませんか？(仕様や工法の変更、住民の協力など)	ある	→	内容			
	ない					
(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	ある	→	内容			
	ない					
(10)受益者負担はありますか？また、受益者負担割合は適正ですか？	ある	→	現状で適正	内容		
	ない				→	検討が必要

4 改革改善案(PLAN)	(1)今後の事業の方向性	拡大	改善	現状維持	縮小	統合	廃止・休止
	(2)改革・改善案 対象、意図、手段等の見直しなど	コストの方向性	維持	事業費の方向性	維持	成果の方向性	維持

平成28 年度（ 27 年度実施分） 事務事業目的評価表

様式1-1

記入日 平成 28 年 10 月 31 日

1 事務事業 の 現 状 (D O)	事務事業名	No. 610501	道路改良事業				主管課名	道路河川課				
	この事務事業 の位置	政策	安全で安心して住み続けることができる地域				課長名	渡辺輝久矢				
		施策	誰もが安心して出かけられるまち									
		基本事業	幹線道路の整備									
	(1)事業の概要											
	道路の新設、狭い幹線道路拡幅整備や生活関連道路整備を行い交通事故や渋滞などの道路環境の悪化を防止・解消し、市内の道路ネットワークを整備する。 また、幹線市道に掛かる橋梁の耐震補強を行い災害時における緊急輸送路を確保する。						(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) … 数値は(9)					
							名 称		単 位			
							発注件数		件			
							道路整備延長		m			
							その指標					
(27年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)												
28年度計画		前年と同様 変更あり	変更内容	H 2 8 から 7 4 1 6 0 2 公共用地買収事務を統合								
(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)						(6)対象指標(対象の大きさを表す指標) … 数値は(9)						
認定市道 道路利用者						名 称		単 位				
						認定市道総延長		m				
						みよし市民		人				
(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)						(7)成果指標(意図の達成度を示す指標) … 数値は(9)						
安全に利用できる道路形態にする 道路を新設し、スムーズな移動経路を確保する						名 称		単 位				
						道路改良済延長		m				
(4)結果(上位基本事業の意図)						(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) … 数値は(9)						
誰もが安心して出かけられ、移動が円滑にできるための道路整備を推進する。						名 称		単 位				
						都市計画道路の整備率		%				
(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標												
指標	年度	単位	26年度実績値	27年度実績値	28年度計画値	29年度目標値	30年度目標値	31年度目標値				
(5)の 活動指標		件	8	0	0	5	5	5				
		m	480	0	0	100	100	100				
(6)の 対象指標		m	256,226	260,311	260,400	260,500	260,600	260,700				
		人	59,885	60,365	60,710	61,056	61,401	61,744				
(7)の 成果指標		m	209,908	214,905	215,000	215,100	215,200	215,300				
(8)の結果の 成果指標		%	78	79	80	80	81	81				
(10)予算費目		会計	01 一般会計				款	08	項	02	目	03
(11)コスト		年度	26年度実績値	27年度実績値	28年度計画値	29年度目標値	30年度目標値	31年度目標値				
事業費(決算又は予算額)		単位	98,030	11,094	32,522	26,582	54,582	58,082				
A 財源内訳	国庫支出金	千円	31,000	0	0	0	0	0				
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0				
	地方債	千円	27,900	0	0	0	0	0				
	その他	千円	0	0	0	0	0	0				
	一般財源	千円	39,130	11,094	32,522	26,582	54,582	58,082				
人件費 B		千円	4,286	4,425	2,861	4,492	3,911	3,933				
正職員従事時間×人数		時間×人	208 × 6	198 × 6	128 × 6	201 × 6	175 × 6	176 × 6				
正職員以外の人件費		千円										
その他費用 C		千円	323	461	297	469	407	409				
トータルコスト A+B+C		千円	102,639	15,980	35,680	31,543	58,900	62,424				
単位あたりコスト (トータルコスト /(6)の対象指標)		千円/ m	0	0	0	0	0	0				
		千円/ 人	2	0	1	1	1	1				
		千円/										

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名 No. 610501 道路改良事業		
	(1)この事務事業はいつから開始したのか？	かなり前	から
	(2)この事務事業を開始したきっかけは？	世帯、人口の増加、自動車所有台数及び交通量の増加に伴い、生活行動範囲が広がり、交通アクセスを整備し、渋滞の緩和、安全な生活道路の確保するために始まった。	
	(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？	変化していない	変化している
		(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？	
		<ul style="list-style-type: none"> ・事業関係地権者等の合意 ・依存財源の確保が必要 	

3 評価(SEE)	目的妥当性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？ また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	法定受託事務	→	根拠法令	
			自治事務	→	根拠法令	法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する
					この事務を行う根拠又は理由	道路法 渋滞の緩和や安全な通行形態の確保など、市民の生活環境を向上するためにこの事業は必要である。
		(2)この事業の意図は結果(基本事業の意図)に結びつきますか？	結びつく		理由	
			結びつかない	→		
		(3)対象を見直すこと(対象の拡大又は縮小)はできませんか？	できる	→	拡大	内容
			できない	→	縮小	
		(4)意図を見直すこと(意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み)はできませんか？	できる	→	追加	内容
			できない	→	拡充 絞込み	
		(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	影響が大きい		理由又は内容	
		多少影響がある	→			
		影響はない	→			
	(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？ 1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	できる	→	理由又は内容	依存財源も限られている	
		できない	→			
	(7)類似又は関連する事業はありませんか？ また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？	ある	→	庁内事業	類似事業名	
		ない	→	庁外事業		
					類似事業との再編の可能性	
				ある	→	内容
				ない		
	(8)現在の成果水準のまま事業費を削減する方法はありますか？(仕様や工法の変更、住民の協力など)	ある	→	内容		
		ない	→			
	(9)現状より人件費を削減する方法はありますか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	ある	→	内容		
		ない	→			
	(10)受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	ある	→	内容		
		ない	→			
			→	現状で適正		
			→	検討が必要		
			→	受益者がいない		

4 改革改善案(PLAN)	(1)今後の事業の方向性	拡大	改善	現状維持	縮小	統合	廃止・休止
		コストの方向性	削減	事業費の方向性	減額	成果の方向性	維持
	(2)改革・改善案 対象、意図、手段等の見直しなど						

平成28 年度（ 27 年度実施分） 事務事業目的評価表

様式1-1

記入日 平成 28 年 10 月 31 日

1 事務事業 の 現状 (DOC)	事務事業名	No. 610502	都市計画道路整備事業				主管課名	道路河川課	
	この事務事業 の位置	政策	安全で安心して住み続けることができる地域				課長名	渡辺輝久矢	
		施策	誰もが安心して出かけられるまち						
		基本事業	幹線道路の整備						
	(1)事業の概要								
	市内に都市計画決定された都市計画道路を新設整備し、幹線道路網によるみよし市都市機能の向上を推進する。					(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) … 数値は(9)			
						名 称		単位	
						都市計画道路整備延長		m	
						用地取得面積		㎡	
						道路整備延長		m	
					その指標				
(27年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)		用地補償調査	用地買収	街路整備工事	完了検査	支払い事務			
28年度計画	前年と同様 変更あり	変更内容							
(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)					(6)対象指標(対象の大きさを表す指標) … 数値は(9)				
みよし市事業による都市計画道路					名 称		単位		
					蜂ヶ池線整備計画延長		m		
					三好中郡特定土地区画整理関連計画延長		m		
					その指標				
(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)					(7)成果指標(意図の達成度を示す指標) … 数値は(9)				
県道三好沓掛線から国道153号までのアクセス時間を短縮する区画整理事業に合わせた計画的整備により事業完了を図る					名 称		単位		
					県道三好沓掛線から国道153号へのアクセス時間		分		
					蜂ヶ池線進捗率 整備済延長/計画延長		%		
					区画整理内街路整備済延長/計画延長		%		
					その指標				
(4)結果(上位基本事業の意図)					(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) … 数値は(9)				
誰もが安心して出かけられ、移動が円滑にできるための道路整備を推進する。					名 称		単位		
					都市計画道路の整備率		%		
					その指標				
(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標									
指標	年度	単位	26年度実績値	27年度実績値	28年度計画値	29年度目標値	30年度目標値	31年度目標値	
(5)の活動指標		m	52,100	53,000	53,320	53,640	54,040	54,140	
		㎡	287	1,986	9,404	3,475	1,239	149	
		m	209,908	214,905	215,000	215,100	215,200	215,300	
(6)の対象指標		m	1,450	1,450	1,450	1,450	1,450	1,450	
		m	1,236	1,236	1,236	1,236	1,236	1,236	
(7)の成果指標		分	7	7	7	7	7	7	
		%	86	86	86	86	86	86	
		%	0	0	31	62	100	100	
(8)の結果の成果指標		%	78	79	80	80	81	81	
(10)予算費目									
会計		01 一般会計				款	08	項	04
		目		02					
(11)コスト									
年度		26年度実績値	27年度実績値	28年度計画値	29年度目標値	30年度目標値	31年度目標値		
事業費(決算又は予算額)		単位	41,255	177,920	782,258	527,478	187,093	639,078	
A 財源内訳	国庫支出金	千円	0	22,880	143,520	64,100	34,050	142,400	
	県支出金	千円	11,400	22,000	0	22,000	0	25,000	
	地方債	千円	0	20,600	215,100	115,200	61,200	256,100	
	その他	千円	0	66,300	421,180	235,600	87,665	182,900	
	一般財源	千円	29,855	46,140	2,458	90,578	4,178	32,678	
人件費B		千円	5,495	5,866	7,225	8,566	1,862	5,884	
正職員従事時間×人数		時間×人	320×5	315×5	388×5	460×5	100×5	316×5	
正職員以外の人件費		千円							
その他費用C		千円	415	599	737	874	191	600	
トータルコストA+B+C		千円	47,165	184,385	790,220	536,918	189,146	645,562	
単位あたりコスト (トータルコスト /(6)の対象指標)	千円/ m	33	127	545	370	130	445		
	千円/ m	38	149	639	434	153	522		
	千円/								

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名 No. 610502 都市計画道路整備事業	
	(1)この事務事業はいつから開始したのか？ 都市計画道路事業認定された平成3年 から	(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？ 三好中部特定土地区画整理事業に合わせた事業計画を実施するため、依存財源の確保が必要となる。
	(2)この事務事業を開始したきっかけは？ 国道、県道の幹線道路間を短時間で安全に移動するために始めた。	
	(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？ 変化していない 変化している 変化している内容 国、県の補助金の確保が難しい	

3 評価(SEE) 目的妥当性 有効性 効率性 公平性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？ また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	法定受託事務 自治事務	根拠法令 法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する 根拠法令 都市計画法 この事務を行う根拠又は理由	都市計画法 都市計画決定された道路であるため、まちづくり計画上整備する必要がある。	
	(2)この事業の意図は結果(基本事業の意図)に結びつきますか？	結びつく 結びつかない	理由		
	(3)対象を見直すこと(対象の拡大又は縮小)はできませんか？	できる できない	拡大 縮小	内容	
	(4)意図を見直すこと(意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み)はできませんか？	できる できない	追加 拡充 絞込み	内容	
	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	影響が大きい 多少影響がある 影響はない		理由 又は 内容	
	(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？ 1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	できる できない		理由 又は 内容	市街地の用地取得のため、事業費が必要
	(7)類似又は関連する事業はありませんか？ また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？	ある ない	庁内事業 庁外事業	類似事業名 類似事業との再編の可能性	道路改良事業 ある ない
	(8)現在の成果水準のままでは事業費を削減する方法はありませんか？(仕様や工法の変更、住民の協力など)	ある ない		内容	
	(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	ある ない		内容	
	(10)受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	ある ない	現状で適正 検討が必要	内容	

4 改革改善案(PLAN)	(1)今後の事業の方向性	拡大	改善	現状維持	縮小	統合	廃止・休止
	(2)改革・改善案 対象、意図、手段等の見直しなど	コストの方向性	削減	事業費の方向性	減額	成果の方向性	維持

平成28 年度（ 27 年度実施分） 事務事業目的評価表

様式1-1

記入日 平成 28 年 10 月 31 日

1 事務事業 の 現状 (DOC)	事務事業名	No. 610601	道路修繕事業				主管課名	道路河川課				
	この事務事業 の位置	政策	安全で安心して住み続けることができる地域				課長名	渡辺輝久矢				
		施策	誰もが安心して出かけられるまち									
		基本事業	生活道路の整備									
	(1)事業の概要											
	市道各路線の緊急修繕を含めた道路維持補修工事を全市域において実施する。					(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) … 数値は(9)						
						名 称		単 位				
						舗装補修箇所数		箇所				
						排水施設の補修箇所数		箇所				
						緊急道路補修箇所数		箇所				
					その指標							
(27年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)		現場パトロール確認	舗装補修業者に修繕依頼	側溝補修現場と見積内容の確認	緊急時に道路補修設計書作成	修繕業者の選択と見積依頼	工事発注	見積依頼	見積内容			
28年度計画	前年と同様 変更あり	変更内容										
(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)					(6)対象指標(対象の大きさを表す指標) … 数値は(9)							
認定市道 歩行者 通行車両					名 称		単 位					
					認定路線数		路線					
					みよし市の人口		人					
					その指標							
(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)					(7)成果指標(意図の達成度を示す指標) … 数値は(9)							
歩行者の安全確保を図る 道路交通の安全確保を図る					名 称		単 位					
					修繕済み箇所数		箇所					
					その指標							
(4)結果(上位基本事業の意図)					(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) … 数値は(9)							
誰もが安心して出かけられ、移動が円滑にできるための道路整備を推進する。					名 称		単 位					
					歩道付道路の整備率(済延長/計画延長)		%					
					その指標							
(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標												
指標	年度	単 位	26年度実績値	27年度実績値	28年度計画値	29年度目標値	30年度目標値	31年度目標値				
(5)の 活動指標		箇所	59	66	70	70	70	70				
		箇所	41	34	50	50	50	50				
		箇所	59	76	70	70	70	70				
(6)の 対象指標		路線	851	884	900	900	900	900				
		人	59,885	60,365	60,800	61,400	62,000	62,600				
(7)の 成果指標		箇所	159	176	190	190	190	190				
(8)の結果の 成果指標		%	89.4	89.4	89.4	89.4	91	91				
(10)予算費目		会計	01 一般会計				款	08	項	02	目	02
(11)コスト		年度	26年度実績値	27年度実績値	28年度計画値	29年度目標値	30年度目標値	31年度目標値				
事業費(決算又は予算額)		単 位	215,074	265,835	196,510	180,000	180,000	180,000				
A 財源内訳	国庫支出金	千円	6,292	19,085	28,600	49,250	48,400	30,250				
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0				
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0				
	その他	千円	1,883	2,331	1,934	1,000	1,000	1,000				
	一般財源	千円	206,899	244,419	165,976	129,750	130,600	148,750				
人件費 B		千円	9,731	10,270	10,300	10,300	10,300	10,300				
正職員従事時間×人数		時間×人	490×4	488×4	490×4	490×4	490×4	490×4				
正職員以外の人件費		千円	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000				
その他費用 C		千円	715	754	754	754	754	754				
トータルコスト A+B+C		千円	225,520	276,859	207,564	191,054	191,054	191,054				
単位あたりコスト (トータルコスト /(6)の対象指標)		千円/ 路線	265	313	231	212	212	212				
		千円/ 人	4	5	3	3	3	3				
		千円/										

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名	No.	610601	道路修繕事業
	(1)この事務事業はいつから開始したのか？ 昭和50年認定町道を管理するようになってから			(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？ 今後整備済み施設の老朽化等による事業の拡大が懸念される。
	(2)この事務事業を開始したきっかけは？ 利用者の安全確保			
	(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？ 変化していない 変化している			
変化している内容			認定路線延長が増加している	

3 評価(SEE) 目的妥当性 有効性 効率性 公平性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	法定受託事務 自治事務	→ →	根拠法令 法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する 根拠法令 道路法 この事務を行う根拠又は理由 認定市道における道路管理者としての責務である		
	(2)この事業の意図は結果(基本事業の意図)に結びつきますか？	結びつく 結びつかない	→	理由		
	(3)対象を見直すこと(対象の拡大又は縮小)はできませんか？	できる できない	→ →	拡大 縮小	内容	
	(4)意図を見直すこと(意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み)はできませんか？	できる できない	→ → →	追加 拡充 絞込み	内容	
	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	影響が大きい 多少影響がある 影響はない	→	理由 又は 内容		
	(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？ 1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	できる できない	→	理由 又は 内容	道路施設について点検に基づき事前に修繕することにより、施設の長寿命化を図る。	
	(7)類似又は関連する事業はありませんか？ また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？	ある ない	→ →	庁内事業 庁外事業	類似事業名 類似事業との再編の可能性 ある ない	内容
	(8)現在の成果水準のままでは事業費を削減する方法はありませんか？(仕様や工法の変更、住民の協力など)	ある ない	→	内容		
	(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	ある ない	→	内容		
	(10)受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	ある ない	→ →	現状で適正 検討が必要	内容	

4 改革改善案(PLAN)	(1)今後の事業の方向性	拡大	改善	現状維持	縮小	統合	廃止・休止
	(2)改革・改善案 対象、意図、手段等の見直しなど	コストの方向性	維持	事業費の方向性	維持	成果の方向性	維持

平成28 年度（ 27 年度実施分） 事務事業目的評価表

様式1-1

記入日 平成 28 年 10 月 31 日

1 事務事業 の 現状 (DOC)	事務事業名	No. 610602	道路維持管理事業				主管課名	道路河川課				
	この事務事業 の位置	政策	安全で安心して住み続けることができる地域				課長名	渡辺輝久矢				
		施策	誰もが安心して出かけられるまち									
		基本事業	生活道路の整備									
	(1)事業の概要											
	道路の安全確保、適切な維持管理を行うため、道路の草刈、パトロール、こみ拾い等の維持管理委託の発注及び直接修繕を行う。					(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) … 数値は(9)						
						名 称		単位				
						道路パトロール日数		日				
						その指標						
	(27年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)		道路施設点検委託設計書作成 完了検査 支払い業務		道路草刈委託設計書作成		委託業務発注	委託業者打合せ	苦情処理			
28年度計画	前年と同様 変更あり		変更内容									
(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)					(6)対象指標(対象の大きさを表す指標) … 数値は(9)							
認定市道					名 称		単位					
					市道認定路線数		本					
					その指標							
(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)					(7)成果指標(意図の達成度を示す指標) … 数値は(9)							
道路施設に異常が無いが巡回を行い、損傷箇所をなくす					名 称		単位					
					パトロールによる異常発見件数		件					
					その指標							
(4)結果(上位基本事業の意図)					(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) … 数値は(9)							
誰もが安心して出かけられ、移動が円滑にできるための道路整備を推進する。					名 称		単位					
					歩道付道路の整備率(済延長/計画延長)		%					
					その指標							
(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標												
指標	年度	単位	26年度実績値	27年度実績値	28年度計画値	29年度目標値	30年度目標値	31年度目標値				
(5)の活動指標		日	51	51	51	51	51	51				
(6)の対象指標		本	851	852	900	900	900	900				
(7)の成果指標		件	85	93	95	95	95	95				
(8)の結果の成果指標		%	89.4	89.4	89.4	89.4	91	91				
(10)予算費目		会計	01 一般会計				款	08	項	02	目	02
(11)コスト		年度	26年度実績値	27年度実績値	28年度計画値	29年度目標値	30年度目標値	31年度目標値				
事業費(決算又は予算額)		単位	15,293	17,346	19,606	21,846	21,596	21,496				
A	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0				
		県支出金	千円	0	0	0	0	0				
		地方債	千円	0	0	0	0	0				
		その他	千円	0	169	1,000	1,000	1,000	1,000			
		一般財源	千円	15,293	17,177	18,606	20,846	20,596	20,496			
人件費B		千円	7,868	8,448	8,448	8,448	8,448	8,448				
正職員従事時間×人数		時間×人	400×5	400×5	400×5	400×5	400×5	400×5				
正職員以外の人件費		千円	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000				
その他費用C		千円	755	755	755	755	755	755				
トータルコストA+B+C		千円	23,916	26,549	28,809	31,049	30,799	30,699				
単位あたりコスト		千円/ 本	28	31	32	34	34	34				
(トータルコスト/ (6)の対象指標)		千円/										
		千円/										

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名 No. 610602 道路維持管理事業	(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？ 施設の拡充や区画整理の完了により管理すべき施設の増大が見込まれる。
	(1)この事務事業はいつから開始したのか？ 昭和50年、平成2年、平成12年 から	
	(2)この事務事業を開始したきっかけは？ 道路法第28条の規定により道路台帳を整理し、地方交付税算出根拠資料とするため。	
	(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？ 変化していない 変化し市道認定路線数、街路樹の本数、苦情件数等変化している → 内容が増加している。	

3 評価(SEE) 目的妥当性 有効性 効率性 公平性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	法定受託事務 → 自治事務 →	根拠法令 法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する 根拠法令 道路法 この事務を行う根拠又は理由 道路管理者としての責務である
	(2)この事業の意図は結果(基本事業の意図)に結びつきますか？	結びつく → 結びつかない →	理由
	(3)対象を見直すこと(対象の拡大又は縮小)はできませんか？	できる → 拡大 → できない → 縮小 →	内容
	(4)意図を見直すこと(意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み)はできませんか？	できる → 追加 → できない → 拡充 → 絞込み →	内容
	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	影響が大きい → 多少影響がある → 影響はない →	理由又は内容
	(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？ 1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	できる → できない →	理由又は内容 施設の増加、老朽化による
	(7)類似又は関連する事業はありませんか？ また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？	ある → 庁内事業 → ない → 庁外事業 →	類似事業名 類似事業との再編の可能性 ある → 内容 ない
	(8)現在の成果水準のままでは事業費を削減する方法はありませんか？(仕様や工法の変更、住民の協力など)	ある → ない →	内容
	(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	ある → ない →	内容
	(10)受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	ある → 現状で適正 → ない → 検討が必要 → 受益者がいない →	内容

4 改革改善案(PLAN)	(1)今後の事業の方向性	拡大	改善	現状維持	縮小	統合	廃止・休止
	(2)改革・改善案 対象、意図、手段等の見直しなど	コストの方向性	維持	事業費の方向性	増額	成果の方向性	維持

平成28 年度（ 27 年度実施分） 事務事業目的評価表

様式1-1

記入日 平成 28 年 10 月 31 日

1 事務事業 の 現状 (DOC)	事務事業名	No. 610603	里道整備事業				主管課名	道路河川課		
	この事務事業 の位置	政策	安全で安心して住み続けることができる地域				課長名	渡辺輝久矢		
		施策	誰もが安心して出かけられるまち							
		基本事業	生活道路の整備							
	(1)事業の概要									
	行政区管理の里道を分担金を徴収し、整備を行う。						(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) … 数値は(9)			
	大規模集落 10%						名称			
	大規模集落以外 20%						対象行政区			
							その指標			
	(27年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)									
28年度計画		前年と同様 変更あり		変更内容		地元区長と施工箇所の確認 設計書作成 分担金徴収事務 工事発注 現場監督 完了検査 分 担金徴収事務 支払い事務				
(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)						(6)対象指標(対象の大きさを表す指標) … 数値は(9)				
利用する市民						名称				
						市民				
						単位				
						人				
(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)						(7)成果指標(意図の達成度を示す指標) … 数値は(9)				
道路整備やカーブミラー等の設置を行い生活道路の利用、利便を向上する。						名称				
						発注件数				
						単位				
						件				
(4)結果(上位基本事業の意図)						(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) … 数値は(9)				
誰もが安心して出かけられ、移動が円滑にできるための道路整備を推進する。						名称				
						歩道付道路の整備率(済延長/計画延長)				
						単位				
						%				
(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標										
指標	年度	単位	26年度実績値	27年度実績値	28年度計画値	29年度目標値	30年度目標値	31年度目標値		
(5)の活動指標		行政区	2	2	2	2	2	2		
(6)の対象指標		人	59,885	60,365	60,710	61,056	61,401	61,744		
(7)の成果指標		件	2	3	4	4	4	4		
(8)の結果の成果指標		%	89.4	89.4	89.4	89.4	91	91		
(10)予算費目										
会計		01 一般会計					款	08	項	02
							目		03	
(11)コスト										
事業費(決算又は予算額)		年度	26年度実績値	27年度実績値	28年度計画値	29年度目標値	30年度目標値	31年度目標値		
A	財源内訳	単位	13,542	13,633	10,202	10,900	8,000	8,000		
		国庫支出金	千円	0	0	0	0	0		
		県支出金	千円	0	0	0	0	0		
		地方債	千円	0	0	0	0	0		
		その他	千円	1,354	1,363	1,020	1,090	800	800	
		一般財源	千円	12,188	12,270	9,182	9,810	7,200	7,200	
人件費B		千円	1,031	969	485	522	477	611		
正職員従事時間×人数		時間×人	150×2	130×2	65×2	70×2	64×2	82×2		
正職員以外の人件費		千円								
その他費用C		千円	69	92	46	50	45	58		
トータルコストA+B+C		千円	14,642	14,694	10,733	11,472	8,522	8,669		
単位あたりコスト		千円/人	0	0	0	0	0	0		
(トータルコスト/(6)の対象指標)		千円/								

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名 No. 610603 里道整備事業		
	(1)この事務事業はいつから開始したのか？	昭和56年	から
	(2)この事務事業を開始したきっかけは？	生活道路の整備を地元行政区で行っていたが、発注方法、施工方法等において地元管理が難しくなったため、負担金を徴収して市で施工することになった	
	(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？	変化していない	変化している
		変化した内容	
		(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？	
		住環境の変化に伴い住民のニーズ内容が多様化、高度化している。	

3 評価(SEE)	目的妥当性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？ また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	法定受託事務	→	根拠法令	
			自治事務	→	根拠法令	法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する
					この事務を行う根拠又は理由	みよし市生活環境整備事業分担金の徴収に関する条例
		(2)この事業の意図は結果(基本事業の意図)に結びつきますか？	結びつく		理由	
			結びつかない	→		
		(3)対象を見直すこと(対象の拡大又は縮小)はできませんか？	できる	→	内容	
			できない	→		
			拡大	→		
			縮小	→		
		(4)意図を見直すこと(意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み)はできませんか？	できる	→	内容	
	できない	→				
		追加	→			
		拡充	→			
		絞込み	→			
有効性	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	影響が大きい		理由又は内容		
		多少影響がある	→			
		影響はない	→			
(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？	できる	→	理由又は内容			
	できない	→		地元行政区負担には限りがある。		
	1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？					
効率性	(7)類似又は関連する事業はありませんか？ また、類似事業との再編で費用対効果が向上しますか？	ある	→	類似事業名		
		ない	→	類似事業との再編の可能性	ある → 内容	
		庁内事業	→			
		庁外事業	→			
(8)現在の成果水準のままでは事業費を削減する方法はありませんか？(仕様や工法の変更、住民の協力など)	ある	→	内容			
	ない	→				
公平性	(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	ある	→	内容		
		ない	→			
(10)受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	ある	→	内容			
	ない	→				
		現状で適正	→			
		検討が必要	→			
		受益者がいない	→			

4 改革改善案(PLAN)	(1)今後の事業の方向性	拡大	改善	現状維持	縮小	統合	廃止・休止
		コストの方向性	維持	事業費の方向性	維持	成果の方向性	維持
	(2)改革・改善案 対象、意図、手段等の見直しなど						

平成28 年度（ 27 年度実施分） 事務事業目的評価表

様式1-1

記入日 平成 28 年 10 月 31 日

1 事務事業の現状（DOC）	事務事業名	No. 610801	道路安全施設設置事業				主管課名	道路河川課				
	この事務事業の位置	政策	安全で安心して住み続けることができる地域				課長名	渡辺輝久矢				
		施策	誰もが安心して出かけられるまち									
		基本事業	自転車・歩行者専用道路の整備									
	(1)事業の概要											
	事務費 交通安全施設設置事業 カーブミラー設置 ガードレール設置 歩道設置事業						(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) … 数値は(9)					
							名 称		単 位			
							道路照明灯設置本数		箇所			
							カーブミラー設置本数		箇所			
							その指標					
(27年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)		道路照明灯：道路構造の基準に基づき設置を行う。歩道整備：道路構造令に基づき整備を行う。 カーブミラー設置：道路構造の基準に基づき設置を行う。										
28年度計画	前年と同様 変更あり	変更内容										
(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)						(6)対象指標(対象の大きさを表す指標) … 数値は(9)						
市民						名 称		単 位				
						市民		人				
(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)						(7)成果指標(意図の達成度を示す指標) … 数値は(9)						
安全に利用できるようにする						名 称		単 位				
						交通事故件数		件				
(4)結果(上位基本事業の意図)						(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) … 数値は(9)						
誰もが安心して出かけられ、移動が円滑にできるための道路整備を推進する。						名 称		単 位				
						自転車・歩行者専用道路整備率(済延長/計画延長)		%				
(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標												
指標	年度	単 位	26年度実績値	27年度実績値	28年度計画値	29年度目標値	30年度目標値	31年度目標値				
(5)の活動指標		箇所	3	8	0	3	3	3				
		箇所	27	43	14	10	10	10				
(6)の対象指標		人	59,885	60,365	60,710	61,056	61,401	61,744				
(7)の成果指標		件	296	267	300	300	300	300				
(8)の結果の成果指標		%	81	83.2	83.2	83.2	83.2	83.2				
(10)予算費目		会計	01 一般会計				款	08	項	02	目	04
(11)コスト		年度	26年度実績値	27年度実績値	28年度計画値	29年度目標値	30年度目標値	31年度目標値				
事業費(決算又は予算額)		単 位	54,329	97,110	14,221	45,024	62,024	42,024				
A 財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0				
	県支出金	千円	0	25,100	0	10,000	0	5,000				
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0				
	その他	千円	0	0	0	0	0	0				
	一般財源	千円	54,329	72,010	14,221	35,024	62,024	37,024				
人件費 B		千円	5,316	5,899	2,622	6,927	4,067	4,886				
正職員従事時間×人数		時間×人	387 × 4	396 × 4	176 × 4	465 × 4	273 × 4	328 × 4				
正職員以外の人件費		千円										
その他費用 C		千円	415	599	267	703	413	496				
トータルコスト A+B+C		千円	60,060	103,608	17,110	52,654	66,504	47,406				
単位あたりコスト		千円/ 人	1	2	0	1	1	1				
(トータルコスト / (6)の対象指標)		千円/										
		千円/										

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名	No.	610801	道路安全施設設置事業
	(1)この事務事業はいつから開始したのか？			(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？
	かなり前 から			施設の老朽化等による施設更新の増大が懸念される。
	(2)この事務事業を開始したきっかけは？			
道路を安全、安心に利用するため				
(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？				
変化していない		変化している	道路管理区域、人口及び自動車の増	

3 評価(SEE)	目的妥当性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	法定受託事務	根拠法令	法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する
		自治事務	根拠法令	道路法	この事務を行う根拠又は理由。交通の安全を円滑に図るためには、道路管理者としての責務である。
	(2)この事業の意図は結果(基本事業の意図)に結びつきますか？	結びつく 結びつかない	理由		
	(3)対象を見直すこと(対象の拡大又は縮小)はできませんか？	できる できない	拡大 縮小	内容	
	(4)意図を見直すこと(意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み)はできませんか？	できる できない	追加 拡充 絞込み	内容	
	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	影響が大きい 多少影響がある 影響はない	理由 又は 内容		
	(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？ 1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	できる できない	理由 又は 内容	成果向上には、限りがある	
	(7)類似又は関連する事業はありませんか？ また、類似事業との再編で費用対効果が向上しますか？	ある ない	庁内事業 庁外事業	類似事業名 類似事業との再編の可能性	ある ない
	(8)現在の成果水準のままでは事業費を削減する方法はありませんか？(仕様や工法の変更、住民の協力など)	ある ない	内容		
	(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	ある ない	内容		
(10)受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	ある ない	現状で適正 検討が必要	内容		
受益者がいない					

4 改革改善案(PLAN)	(1)今後の事業の方向性	拡大	改善	現状維持	縮小	統合	廃止・休止
		コストの方向性	増加	事業費の方向性	増額	成果の方向性	向上
	(2)改革・改善案 対象、意図、手段等の見直しなど	歩道設置を行い、歩行者が安全に通行できるようにし、交通事故件数の減少につなげる。					